



# もえろ

2022

1

No. 52

表紙  
のことば

## ☆ 藤島イルミネーション 星に願いを ☆

藤島歴史公園「Hisu花」では、令和4年1月10日までの期間、16万個のイルミネーションが点灯されています。藤島の有志グループが始めた催しは、たくさんの人々に愛されて季節の風物詩となり6年目を迎えました。

コロナが収束しない中、星に願いを込めて書き飾った短冊は、現在、星に姿を変えて輝いています。

会いたい人に会って話をし、行きたい所に行ける、いつもの日常が一日も早く戻ってくれる事を、新しい年に願いたいものです。  
(工藤久子農業委員)





## 年頭のごあいさつ

鶴岡市農業委員会

会長 渡部長和

新年あけましておめでとう  
ございます。コロナ禍の中、  
withコロナの生活スタイルも  
定着しつつありますが、皆様  
におかれましては、色々  
と複雑な気持ちで新年を迎え  
られたことと思います。

昨年は気象災害が多い年  
でした。冬の大雪によるハウスの  
倒壊、そして4月の凍霜、  
5月の降雪では、サクランボ、  
庄内柿など果樹を中心に甚大  
な影響がありました。被害に  
遭われた農家の方々には心よ  
りお見舞い申し上げます。  
昨年の作柄については、特  
産のメロンは目標の11億円を  
超える販売額となり、枝豆に  
関しても苗の生育不良などが  
あったものの順調に推移し、  
価格的にも良い結果となりま  
した。

稲作に関しては春の長雨が

ありましたが、夏は好天に恵  
まれ、作況指数は105のや  
や良となりました。しかし、  
長引くコロナ禍の中、人々の  
行動制限により消費が低迷  
し、中食・外食産業にも大き  
な影響を与えています。コメ  
需要が減少している中で、豊  
作は、コメの在庫がさらに増  
えることとなり、素直に喜べ  
ないのが実情です。

令和3年産のコメ価格は低  
迷し、概算金についても数千  
円単位で下落し、収入が大き  
く減少しました。国や県、市  
でも対応策をとっております  
が、この影響でリタイアを考  
える農家が増えないか心配で  
す。

特に、少子高齢化の進行が  
著しい中山間地域において

は、多面的機能をもっている  
水田を維持し、自然の生態系  
を守っていくために地域での  
話し合いを活発にし、地域農  
業の「将来設計」をつくって  
いくことが重要であると感じ  
ております。

農業委員会では、農業の生  
産基盤である農地を守り、そ  
して有効に利用していくた  
め、地域ぐるみの遊休農地対  
策の取り組みや、耕作地の交  
換による農地の集約を推進し  
ております。農業委員・農地  
利用最適化推進委員が一体と  
なり、農家の皆様に寄り添い  
ながら、引き続き「農地を守  
り有効利用していくこと」「担  
い手と農地を結び付けていく  
こと」に全力で取り組んでい  
きますので、ご協力をお願い  
申し上げます。

最後に皆様のご多幸を祈念  
し、新年の挨拶といたします。



## 皆川市長へ 建議・要望書を提出

農業委員会では、農業に関  
する課題を行政に反映しても  
らうため、現場の声を市及び  
国・県等の関係機関へ伝える  
活動を行っています。

11月22日、農業委員会4役  
が皆川治市長を訪問し、第3  
回総会（10月22日）で決議さ  
れた以下5件の建議・要望か  
ら市への要望3件について、  
趣旨等を説明した上で提出し  
ました。

市の現状と今後の展望等を  
伺いながら、活発な情報交換  
が行われました。

今後も農業委員会として広  
く農業者  
の声をく  
み上げ、  
地域の課  
題解決に  
向けて取  
り組んで  
まいります。



## 市への要望

- ◆ 令和4年度鶴岡市農業振興施策に関する建議書
- ◆ 有害鳥獣対策にかかる電気柵設置費用の軽減を求める要望書
- ◆ 食品ロスの削減と規格外農作物の活用に関する要望書

- 農業経営基盤強化準備金に関する要望書【国へ】
- 遊休農地解消に関する要望書【国・県へ】



# 農業委員会が担う遊休農地対策

農業委員会では毎年、管内の全ての農地について「農地パトロール」を実施しています。

「農地パトロール」って何を見ているの？

農地の状況を判断して、どうするの？



上郷地区の農地パトロールの様子

農地台帳と地図をもとに管内の農地1筆ごとに耕作(利用)状況を確認し、3つの区分に判断しています。

1. 適正に耕作・管理されている
2. 遊休農地化している(※)
3. 森林のようになっている

## 利用意向調査

遊休農地と判断した農地の所有者(耕作者)に今後の利用の意向を確認します。(3択)

- ① 農地中間管理機構に貸し付ける
- ② 自ら買い手または借り手を見つける
- ③ 自ら耕作する

回答から6か月後に  
もう一度現地を調査して  
利用されていないと

農地中間管理機構に貸付の相談をするように勧告  
(勧告対象農地は翌年の固定資産税が1.8倍になることも…)

なるほど、管理できない農地は、他の人にあっせん・利用調整するように中間管理機構と連携しているわけですね。

森林のような農地はどうなるの？



農業委員会では、大切な農地を守り有効利用していくこと、担い手と農地を結び付けていくことに全力で取り組んでいます

## 非農地判断

すっかり森林になっている農地や周りの状況からみて農地に復元しても継続して耕作できない農地は、農業委員会台帳の現況地目を「山林」「原野」に変更します。



※遊休農地：現在、農作物の作付がなく、今後も農地の維持管理(草刈り、耕起等)や農作物の栽培見込みがない農地を言います。

こんにちは！

# SEADS です！

～SEADSで光る自分を見つけよう！～

鶴岡市立農業経営者育成学校（以下、SEADS）は、旧「いこいの村庄内」跡地に2020年に開校した有機農業をはじめ持続可能な農業を、座学と実習を通じて学ぶ場です。



SEADSは2年制（1学年10名程度）の学校で、20～40代の研修生が農業経営者を目指し研修に励んでいます。

おおむね週4日のカリキュラムが組まれており、研修生は座学（1日程度）で栽培基礎知識や経営などを学ぶほか、一人ひとり地域の農家のもとへ実習（3日程度）に出向き、水稲や園芸作物の栽培技術を学んでいます。

加えて、視察研修で地域の様々な農業の現場に触れたり、若手農業者との交流会で情報交換や人脈作りを行いながら、各自が思い描く就農ビジョンの実現に向けて日々研修に取り組んでいます。

また、共同生活という利点を活かし、研修生それぞれが実習先で得た学びを研修生全員で共有できることも特長の一つです。



座学では施肥設計も学びます。実家でも行っています。私には方法を知りませんでした。初めてだからこそしっかりとデータに基づいて計画を立てるのは大切で、そういった基礎から学べるのは良い点だと思います。



二期生  
加藤 圭さん  
鶴岡市出身。  
昨年春、北海道から  
Uターン

私の家族も農家ですが、継承だけではなく、新たな品目にも挑戦したいと思い入校しました。農業の基本に加え、特に営農計画の策定では就農前から関係機関よりアドバイザーをいただいています。

農家は一企業であるので、経営関連の知識を身につけることは必須です。また、就農に向けて「顔売ること」も重要で、これらを研修や農業者との交流会などを通じ得ることが出来ます。

そういった面でこの学校に入って就農するという事はいい選択肢だと思います。



一期生  
富樫 英司さん  
今年4月、  
栄地区で就農予定



今年度、9名の二期生を迎えました

独立就農を目指していると聞き、単純な労働力にならないよう配慮しました。受入れた研修生は、農業の経験はなくてもとても前向きで、その笑顔から集落でも受入れられるだろうと思います。農業には大変なことも多くありますが、これからの担う若い人も農業は良い職業だと思ってもらいたいです。



研修受入農家  
松浦 尚宏さん  
(大泉)



私達が当たり前と思っていたことも、研修生に「なぜ」と問われると改めて考える機会になりました。美味しい農作物を作り、産地を守る。そういった理念をもった人になってもらいたいと思っています。研修生を受け入れています。



研修受入農家  
阿部 栄喜さん  
(西郷)

現在、第三期生を募集中です！

締切は2月10日。  
詳しくはHPを参照ください。  
<https://tsuruoka-seads.com/>

HPやSNSでは研修の様子や情報を発信中です。



WEB



FB



Twitter



SEADSは、農業の基礎・基本を学び、農業のプロを目指す学校です。実習が主体で汗を流し、知識・技術を学んでいます。スマート農業の時代といいますが、農作物と対話のできる五感を磨くことが大事です。研修生には、プロ農家の匠の技や経営理念を学び、実務経験を積み重ね、目標に向かって一歩ずつ取り組んで欲しいと思います。豊かで持続可能な農業を担う人材確保のため、地域の皆様の御支援をお願いします。



校長  
百瀬 清昭

# 農業は取り組む姿勢が大切、 苦勞の中に楽しさと面白さがある！



つるおか★  
ファーマーズ No.2

齋藤 司さん (三千刈)

包み込むような笑顔が魅力の司さん

## 地域の農地を守りたい

櫛引地域のゆくTown付近に一際大きな樹園地が広がっています。その大半を耕作しているのが(株)インフィニファーム代表 齋藤司さんです。

3年前に脱サラし、農業をやるにあたって「どうせやるなら、大きくしよう」と、高齢を理由にリタイアを検討していた近隣の農家の樹園地を集積し、リンゴ3畝、洋ナシ25畝、和なし25畝、柿10畝、水稲1・8畝、野菜・花き67畝と大規模な経営を行っています。

就農当初、5年後までにと考えていた法人化を早々に実現した理由は『後継者問題』にあると言います。会社として軌道に乗せることで、肉親に限らず幅広く第三者にも継承できると話します。収穫まで時間がかかる果樹栽培ならではの課題について、地域の事情を知り、自身の経験を語る齋藤さんの言葉には重みがあります。

## 楽しくなくっちゃ

【美味しいものを作って高く売る！】ことを目標に、現在は土づくりや施肥などの試行錯誤を繰り返して、勉強中と齋藤さんの目は輝いています。

繁忙期には、収穫・箱詰めから6か所の産直への出荷配達、その合間に消毒や草刈りをしていきます。「目の回るような忙しさの中に楽しさを見出して頑張っています。色々な問題に対しても『できない』ではなく『どうすればできるか』を考えて実践していくことが大事ですね。」と、笑顔で語ってくれました。



## ネットワークの構築

今後、ますます樹園地の担い手が減少していく中、広範囲にわたる樹園地耕作者のネットワークを構築し、情報共有を図りたいと意欲的です。地域を越えて労力のシェアをする、技術的な均平化を図る、経営を学び合う、そして、受け手へのスムーズな移譲につながってほしいと熱い想いは尽きません。気さくで大らかな齋藤さんとの語り合いに明るい未来が見えました。

(鈴木聡推進委員)



チラシも工夫しています





# つるおかの/ 名水

県では、地域の人に親しまれている優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定しており、令和2年度までに60か所が選定されています。

## じゅうろうえん 重郎右衛門 清水



鶴岡市大網（旧朝日村）関谷地区内にその名水はありました。

荘内藩のお殿様が参勤交代で江戸に向かう際、お水を献上したところ「大変おいしい」と、お褒めのお言葉を頂いたという言い伝えがあります。

木々が鬱蒼と生い茂る関谷地区の山中の小道から、庄内全域に何千年と休まる事なく大地を潤し、生命の一つひとつに恵みを与え続けていることを感じます。

水は生命の源、誰もが平等に恩恵を受けているはず！足を運んで名水に触れ一口飲んでみたら、明日への活力が出てくるような気がします。（伊藤由紀子推進委員）

## 全国農業 新聞

- ▶ 農家の経営と暮らしに役立つ情報誌
- ▶ 毎週金曜日発行
- ▶ 購読料1か月700円（税込）
- ▶ 申込みは農業委員会へ

購読  
しませんか？



## あしがき

新年明けましておめでとうございます。  
日頃より農業委員会の活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。  
昨年は、異常気象の霜被害、コロナ禍のオリンピック開催の年でした。今年は、日本経済の回復を願いたいものです。

（佐藤宣夫推進委員）

## 重要なお知らせ!!

— 農業者年金制度が改正されます —

令和4年1月から

若い農業者が加入しやすいよう  
保険料が引き下げられます。

35歳未満で認定農業者に該当しない等一定の要件を満たす方は、月額1万円からでも通常加入できるようになります。



1万円なら私も  
加入しようかしら

保険料の納付下限額が

2万円 ➡ 1万円に引下げ

※ご相談はお近くの農業委員会または  
JAへお問い合わせください

鶴岡市農業委員会事務局

〒999-7696 山形県鶴岡市藤島字笹花25（鶴岡市藤島庁舎内） ☎64-5868・64-5860（直） FAX.64-5846

○鶴岡分室 25-2111(代) ○羽黒分室 62-2527 ○櫛引分室 57-2114 ○朝日分室 53-2117 ○温海分室 43-4616

http://www.city.tsuruoka.lg.jp/sangyo/nougyouuinaki/index.html 発行/年3回（1・4・9月）